

落蕾が少なく作業の省力化が可能な スイートピー新品種「試交30号」の特性

巻きひげがなく省力性に優れ、落蕾しにくい形質をもち、花色がピンク色の品種

背景・目的

- 宮崎県では冬期の豊富な日照条件を生かしたスイートピーの生産が盛んに行われ、その生産量、流通量は全国一となっています。
- 本県では、有用な形質を2つ以上持ち合わせた品種育成に取り組んでおり、今回は、曇雨天が続いても落蕾しにくい、難落蕾性の形質を有するとともに、葉の先端に巻きひげがないことで、巻きひげを取る作業が不要となる省力性を有し、花色がピンク色の品種を育成しました。

新品種の主な特徴

- 花色は旗弁、翼弁ともにRHSチャート55B (Pale Purplish Pink) のピンク色です。
- 葉の先端に巻きひげがなく、複葉が付きます。
- 落蕾しにくい形質を有し、2024年～2025年度の試験場における調査では1株あたりの落蕾本数は、対照品種「ムジカスカーレット」の3割～6割と少ないです。
- 1花房あたりの着輪数は4～5輪で、春咲き性の品種です。

育成経過

- 2015年春に、無巻きひげ品種である「ムジカスカーレット」に、「舞姫」を交配し、10年をかけて育成した品種です。

表1 「試交30号」と対照品種「ムジカスカーレット」の主な特性比較

品 種		試交30号	ムジカスカーレット
花色	旗弁 (RHSチャート)	55B Pale Purplish Pink	50A Strong Red
	翼弁 (RHSチャート)	55B Pale Purplish Pink	52B Deep Pink
巻きひげの有無		無	無
一花房当たりの花数		4.2	4.6
開花習性		春咲き性	春咲き性



図1 スイートピー「試交30号」の切り花

新品種の活用方法 (又は期待される効果)

- この品種は、花色が最も栽培される割合の多いピンク色で、難落蕾性を有し、省力化品種であるため、県内全域で採用されることが期待されます。
- 普及対象地域・戸数 県内全域 12戸

留意点

- 種子冷蔵期間は4週間です。
- 輪数等の切り花品質は栽培中の管理状況によって変わります。

関連研究成果カード：2025年度整理番号18

関連事業名：時代のニーズに対応したみやざきオリジナル品種の育成事業(県単)

研究期間：2014～2024年度